



# 新型インフルエンザ（A/H1N1） の対応経過について

平成22年度保健福祉部業務研究等報告会資料

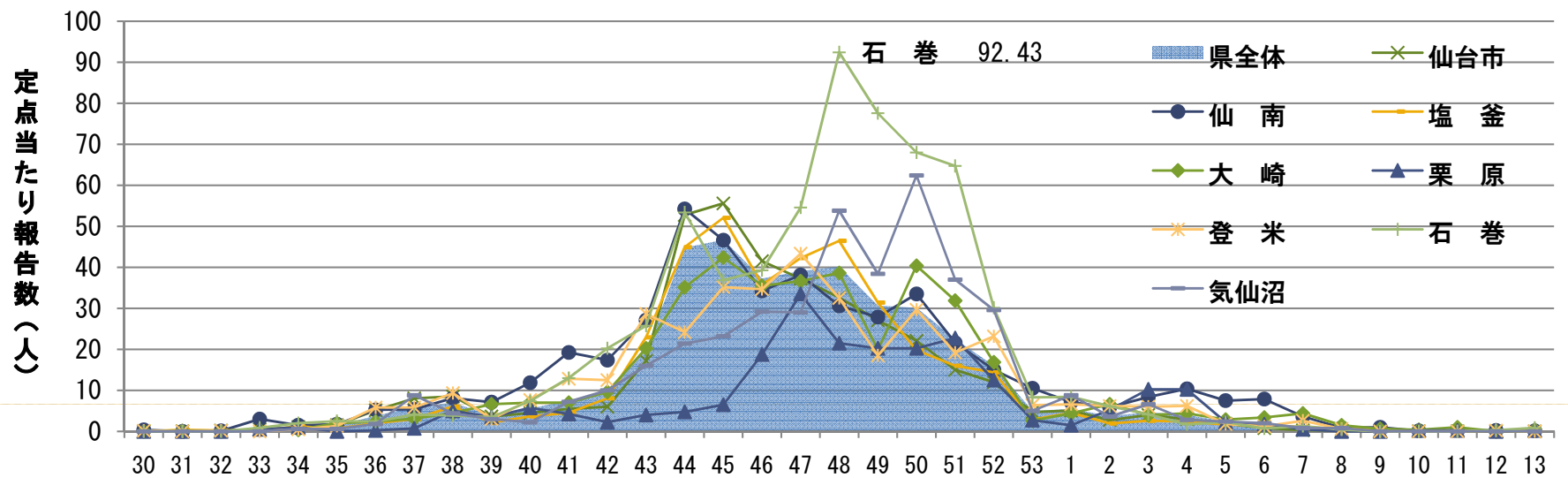
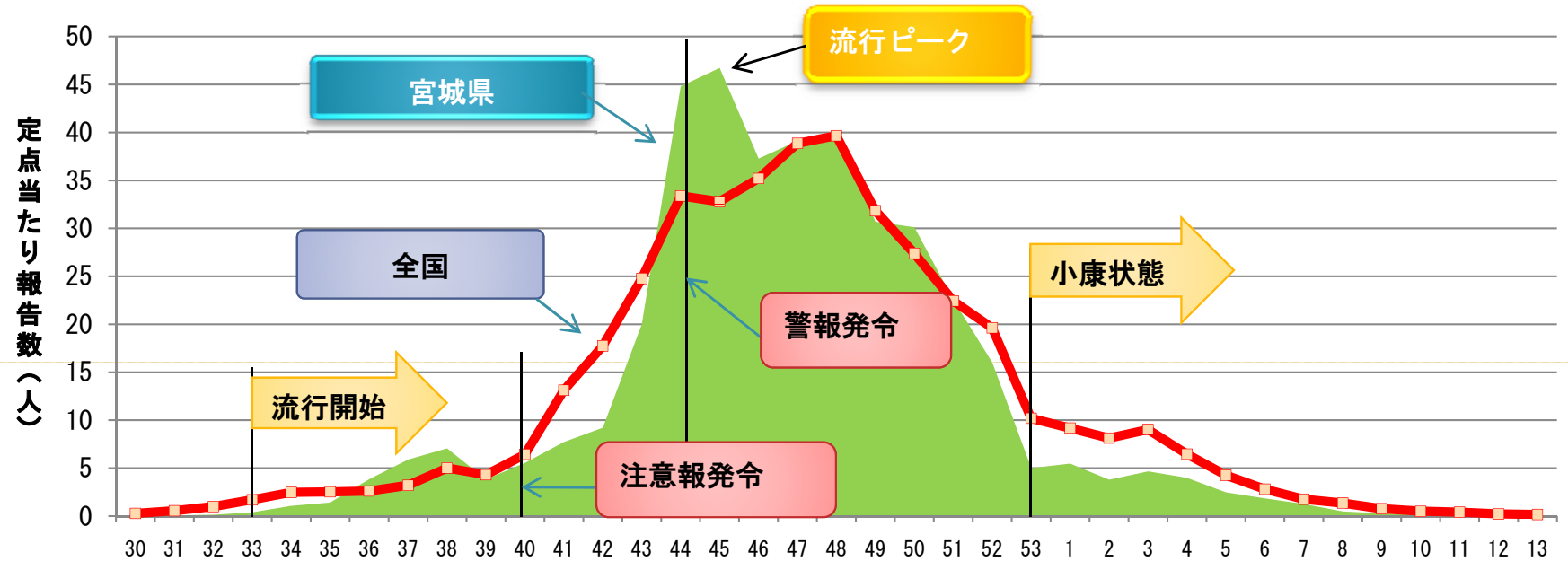
H23.02.03

疾病・感染症対策室 感染症対策班 豊嶋

# 本日の報告内容について

- 1 H21年度（昨年度）の流行状況
- 2 主な取組み
  - (1) 予防及び調査体制
  - (2) 医療提供及び医薬品提供体制
  - (3) 学校等における感染拡大防止体制
  - (4) 情報提供・情報共有体制
- 3 課題等のまとめ
- 4 H22年度（今年度）の流行状況

# 平成21年度の流行状況（1）



# 平成21年度の流行状況（2）

項 目	患者数等	備 考
感染症発生動向調査の定点医療機関における 累計報告者数	38,437人	定点医療機関 県内96か所
累計入院患者数（仙台市分を除く）	293人	全国17,646人 （全国比1.7%）
新型インフルエンザ（感染疑いを含む）によ る死亡者（H22.3月末現在）	3人	全国 198人 （全国比1.7%）
インフルエンザ様症状で医療機関を受診した 推計患者数（厚労省の推計を元に推計）	38万人	県人口の16.3%
ワクチン接種者数	36万人	県人口の15.6%

## 2 主な取組み

### (1) 予防及び調査体制（その1）

#### ■水際対策（海外渡航者の健康監視）

期 間：5/1～6/19まで

対象者：250人 ※仙台市では585人

※旅行者は国内を移動

⇒圏域単位・都道府県間で情報共有・受け渡しが曖昧

#### ■患者等発生に伴う積極的疫学調査

期 間：5/1～7/23まで 全数調査

7/24～8/24まで 集団発生時に調査

対象者：618人（事業所等を単位として行った調査を除く）

うち24人に就業制限，398人に外出自粛要請

※疫学調査による？ストレス・風評被害等，  
メンタルケアが必要となるケースもあった。

上記対策から患者の発生はゼロ

## 2 主な取組み

### (1) 予防及び調査体制（その2）

#### ■サーベイランス体制

##### 《感染拡大の早期探知》

##### ・ クラスター（集団発生）サーベイランス

同一の集団（学校，社会福祉施設，医療機関，職場等）の集団的な発生が疑われる事例を把握

※把握対象・集団発生の定義が随時変更され混乱

##### ・ インフルエンザ様疾患発生報告

学校におけるインフルエンザの流行状況を把握

※H21年11月2日を休業とし，4連休とするよう要請

⇒232校（県内学校の20.9%）が臨時休業

## 2 主な取組み

### (1) 予防及び調査体制（その3）

#### ■サーベイランス体制

##### 《重症化及びウイルスの性状変化監視》

##### ・ウイルスサーベイランス

流行しているウイルスの抗原性，抗インフルエンザウイルス薬への感受性等を調査

※タミフル耐性を示す新型インフルエンザウイルスを確認（H22.3.24）

##### ・インフルエンザ入院サーベイランス

入院患者数とその臨床情報を把握

##### 《発生動向把握》

##### ・インフルエンザサーベイランス

感染症法に基づく「感染症発生動向調査」

## 2 主な取り組み

### (2) 医療提供及び医薬品提供体制（その1）

#### ■発熱外来の設置

期 間：5/1～6/19（国運用指針改定）まで

設 置 数：6病院（34床）

診療件数：89件

#### ■全医療機関での外来診療・病床確保

期 間：6/19から※重症患者数の増加に備えた病床の確保

医療機関数：57病院 約270床

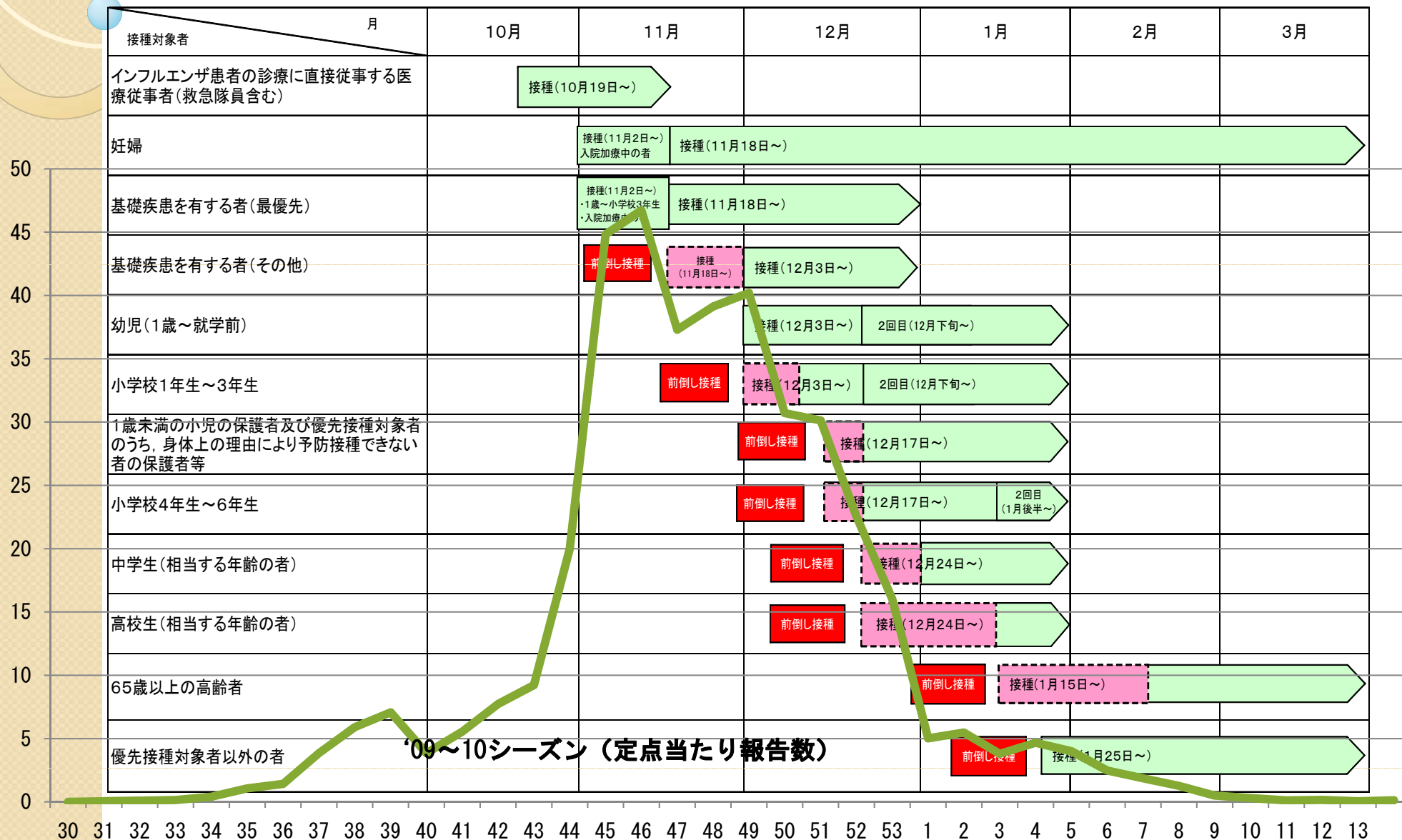
有床診療所：23診療所 50床

※上記の外，休日診療の対応，在宅当番医の増設並びに日曜日に小児科外来の臨時診療等を行った。



# 2 主な取組み

## (2) 医療提供及び医薬品提供体制（その2）



# 2 主な取組み

## (3) 学校等における感染拡大防止体制

### ■臨時休業等を行った公立学校数（仙台市立を除く）

学校種	学校数 A	学級閉鎖		学年閉鎖		臨時休校		臨時休業等実学校数	
		学校数B	割合B/A	学校数C	割合C/A	学校数D	割合D/A	学校数	割合E/A
小学校	321	98	30.5%	172	53.6%	18	5.6%	288	89.7%
中学校	154	34	22.1%	56	36.4%	41	26.6%	131	85.1%
高等学校	87	18	20.7%	18	20.7%	36	41.4%	72	82.8%
特別支援学校	19	8	42.1%	3	15.8%	2	10.5%	13	68.4%
合計	581	158	27.2%	249	42.9%	97	16.7%	504	86.7%

### ■修学旅行の対応

中止：1校（特別支援校）

延期：7校（小学校2校，中学校4校，特別支援校1校）

### ■入学試験での対応

異なる検査室で検査を実施した校数：5校（5人）

※上記の外，社会福祉施設や中小企業等においても感染拡大防止に対する各種対応（BCP策定等）を行っている。

## 2 主な取組み

### (4) 情報提供・情報共有体制（その1）

#### ■相談窓口の設置・運営【専門相談窓口分】

##### 《1回目》

- ・ 期間：5/16～7/17まで（24時間体制）
- ・ 相談件数：4,527人

##### 《2回目》

- ・ 期間：9/17～1/31まで（9時～21時）
- ・ 相談件数：9,692人

■上記の外，4月26日から疾病・感染症対策室及び各保健所において県民からの相談に対応。

※保健師以外の職員も相談対応が出来るよう，マニュアル等の整備や人材の育成が重要

## 2 主な取組み

### (4) 情報提供・情報共有体制（その2）

#### ■ 県庁内の情報共有

- ・ 宮城県新型インフルエンザ対策本部会議及び同幹事会を計9回（本部会議4回，幹事会5回）開催

#### ■ 関係機関との情報共有

- ・ 市町村⇒病原性や感染性についての情報共有  
専門家の講演会等を開催
- ・ 医師会⇒県医師会との連名・共催による会議等の開催等

#### ■ 県民への広報

- ・ 県のホームページ，県政だより及び啓発ポスター・チラシ等により広報

**※情報発信手段の効果的組み合わせが重要**

# 3 課題等のまとめ（1）

## ■ 全体的には

関係機関の協力により、大きな社会的混乱を来すことなく各種対策を実施できた。

## ■ しかし、個別の対策では各方面から指摘

- ・ 国内を移動する旅行者に対する健康監視
- ・ 疫学調査を行われる人に配慮した対応
- ・ 医療従事者が感染した場合の補償
- ・ 集会等の自粛要請の根拠及びその補償
- ・ ワクチンの接種可能時期

## 《内部的には》

- ・ 部内における役割分担の明確化
- ・ 部内各課から保健所に同様の通知を発信 等

# 3 課題等のまとめ（2）

## ■ 対策を踏まえ感じたこと

- ・ 県民に対する **正確な情報提供**
- ・ 市町村，医療機関等関係機関との **連携**
- ・ 感染症（インフルエンザ含む）に精通する **人材の育成**
- ・ 庁内の **健康危機管理体制の充実強化**
  - ★ 自然災害に対する危機管理
    - ⇒ 復旧に際し各機関の役割が明確，市町村がメイン
  - ★ 感染症に対する危機管理
    - ⇒ **行動計画ではなく，国の対処方針等に対応結果，随時対応が変更され混乱**
    - 県及び保健所設置市が対応**

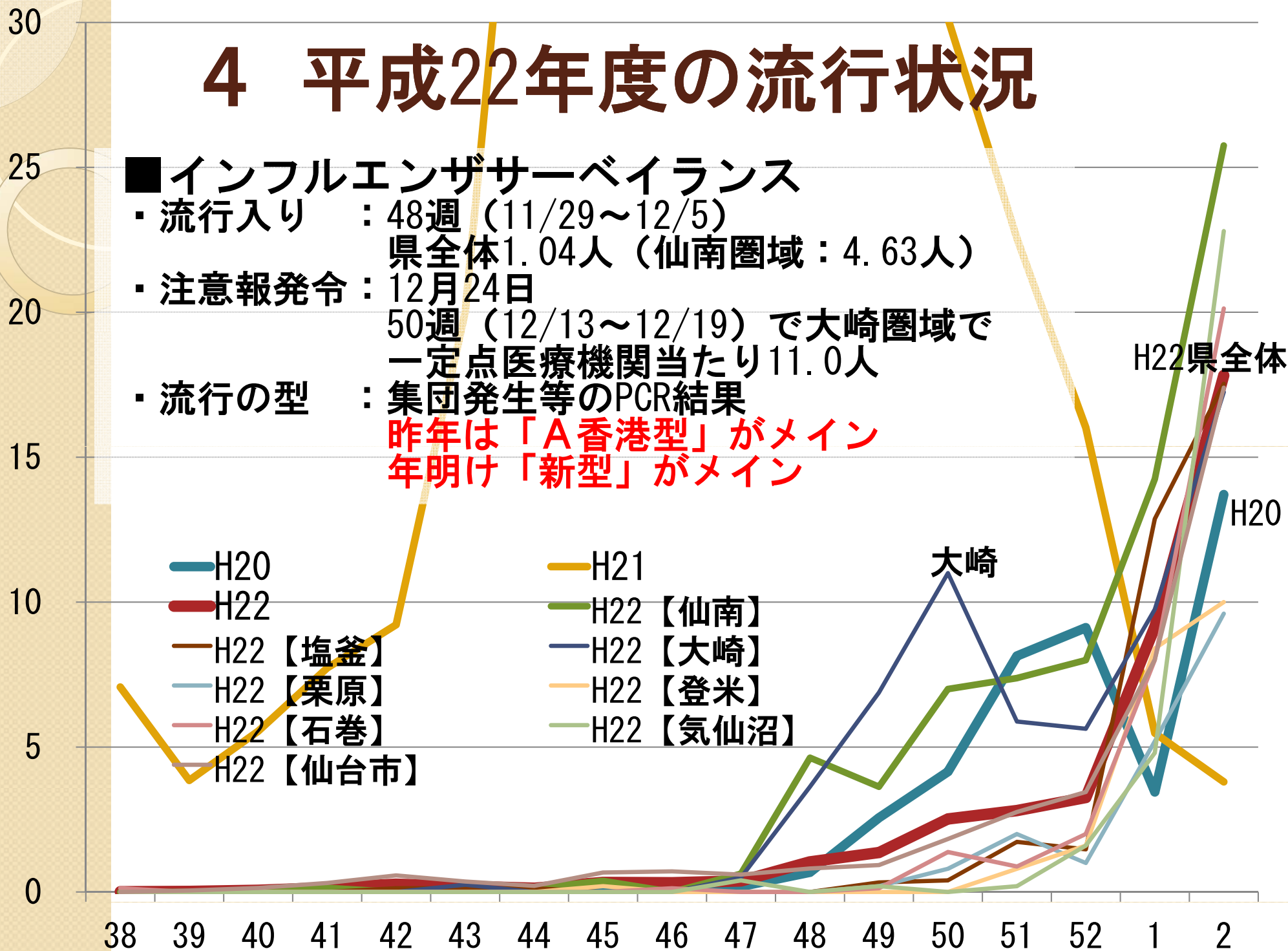
## ■ 宮城県新型インフルエンザ対策行動計画の見直し

- ・ 上記及び国の動向も踏まえ，見直しを行う予定。

# 4 平成22年度の流行状況

## ■ インフルエンザサーベイランス

- ・ 流行入り : 48週 (11/29~12/5)  
県全体1.04人 (仙南圏域 : 4.63人)
- ・ 注意報発令 : 12月24日  
50週 (12/13~12/19) で大崎圏域で  
一定点医療機関当たり11.0人
- ・ 流行の型 : 集団発生等のPCR結果  
昨年は「A香港型」がメイン  
年明け「新型」がメイン





ご清聴

ありがとうございました。

「流行」には、のらないで。  
予防が大切 インフルエンザ